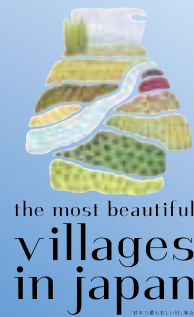


広報



No. **417**

の里  新庄



■人口動態■

平成28年10月31日現在
()内は先月比
男.....446人(±0)
女.....501人(±0)
計.....947人(±0)
世帯数...384戸(-1)

・平成28年11月18日発行 ・〒717-0201 岡山県真庭郡新庄村役場総務企画課 ☎(0867)56-2626 FAX56-2629 ・富士印刷㈱印行
・新庄村のホームページ <http://www.vill.shinjo.okayama.jp/>

立ち上がろう

みんな主役のむらあこし



Ⅱ主な記事Ⅱ

総合防災訓練反省会.....	2面
岡山県知事選挙結果.....	2面
地方創生コーナー.....	3面
秋のがいせん桜まつり.....	4面
お知らせ.....	6面
お元気ですか?.....	7面
社協だより.....	8面
学校だより.....	10面

芸術の秋

新庄村ゆかりの芸術家3人の作品を集めた「日本で最も美しい村の芸術祭」が開催されました。
(関連記事4面)



平成28年度総合防災 訓練反省会

10月13日(木)、真庭消防署及び真庭警察署を含む防災訓練検討委員に出席頂き、平成28年度の総合防災訓練の反省会を実施しました。

事務局から、訓練当日の状況の説明後、各委員から意見を頂きました。「防災訓練は良い内容であり、住民の意識が高い」、「土のう訓練を実施し、水防用資材を確保できた」と訓練を評価する意見や「最悪の事態を想定した訓練が必要」、「次回の訓練はどのようなものがよいと考えるか」という意見・質問も出ました。また、防災訓練だけでなく、災害時の役場業務の継続性に対する意見も出されました。

各地区のハザードマップは、検討会で頂いた意見を参考に、国の防災基本計画、県及び村の地域防災計画に沿って修正した後、各家庭に配布します。平成28年度は新庄村内では大きな自然災害は発生していませんが、常日頃からの備えを十分にしておきましょう。

(総務企画課 千葉)

郷土・おかやま12町村 フェスティバル

10月15日(土)・16日(日)の2日間、後楽園会場に「第5回郷土・おかやま12町村フェスティバル」が開催されました。

各町村長が集合した開会行事後、特設ステージでは各町村のPRとして踊りや伝統芸能などが披露されました。

特産品・ご当地グルメの販売ブースにおいて、新庄村役場職員、道の駅メルヘンの里新庄のスタッフ、さらには岡山新庄会の皆様や新庄出身の方々とともに実施した4人揃きによるひめのもちの実演販売は多くの注目を集め、2日間で多くのお客様が購入されました。



(総務企画課 千葉)

10月23日執行 岡山県知事選挙

投票結果

当日有権者数 819人
男 386人
女 433人

投票者数 575人
男 264人
女 311人

投票率 70.2%

開票結果(届出順・敬称略)

いばらぎ隆太 524票
植本 かんじ 46票
無 効 5票

(新庄村選挙管理委員会)

第71回岡山県畜産 共進会開催

10月16日(日)に岡山県畜産共進会が真庭市の全農岡山県本部総合家畜市場において開催されました。

当村からは真庭地域共進会にて優秀な成績を収めた、坂本徳次さん、竹本康紀さん、稲田佳子さんが、合計4頭の和牛を出品されました。

真庭地域共進会に引き続き、県の共進会においても当村の和牛が下記のとおり、上位に入賞致しました。また、本年度のグランドチャンピオンに選ばれた牛は、新庄村出身の「新初英」が父牛でした。



○若雌区の1

優等賞

7席 しんみお9号

(稲田佳子さん)

8席 しんたけ84号

(竹本康紀さん)

○若雌区の2

優等賞

首席 第5しんはなや号

(坂本徳次さん)

○若雌区の3

優等賞

7席 しんさくら7号

(竹本康紀さん)

(産業建設課 植木)

年末ジャンボミニ1億円
年末ジャンボ7千1,000万 も同時発売

年末ジャンボ

10億円

県内での宝くじの売り上げは、公園、学校などの教育施設の充実など、県民のみなさんの身近なところに役立てられています。宝くじは、「県内」でご購入ください。

発売期間 **11/24 ~ 12/23**

お問い合わせ先 岡山県総務部財政課 TEL086-226-7231

地方創生コーナー

(二社)日本シングルマザー支援協会の江成代表が来村

10月15日(土)、(一社)日本シングルマザー支援協会代表、シングルマザーコーチの江成道子さんを新庄村にお招きし、がいせん桜通りの古い街並みなどの歴史的景観、毛無山麓の豊かな自然環境などや、保育園、小学校などの子育て環境を見学していただきました。

今後、同団体と連携して、移住説明会等を実施していくこととしていますが、新庄村の魅力を知ってもらうことができたので、協会のメンバーの方々に新庄村の良さを広く紹介していただけたと思います。見学の様子は、村のHPへ公開していますので、是非ご覧ください。

(総務企画課 岡崎)

「ふるさとチョイス」でふるさと納税がもっと便利に！

ふるさと納税は、自分の生まれ故郷や応援したい自治体などに寄附を行った場合に、一定の限度額まで税金が控除される制度です。

新庄村では、新たに「ふるさとチョイス」からの手続きを可能としており、制度利用が身近になっています。

【ふるさと納税のメリット】

①お礼の品がもらえる
新庄村も、もらって嬉しい品々を取り揃えています。

②税金が控除される

寄附金額の一部が所得税及び住民税から控除されます。なお、控除を受けるためには、原則として確定申告を行う必要があります。

③自治体を直接応援できる

寄附金の使い道について、ふるさと納税を行った本人が使い道を選択できます。新庄村では、「教育振興と子育て環境の整備に関する事業」など5つの事業から選択できます。

12月31日までに行った寄附が、今年度の税金の控除対象

となります。もちろん、自分の住んでいる自治体へも寄附できますので、この機会にふるさと納税で新庄村を応援してみませんか？

※詳細は、新庄村HP及び

「ふるさとチョイス」

(<http://www.furusato-tax.jp/>)

をご覧ください。

(総務企画課 岡崎)

岡山県民生委員児童委員協議会から表彰されました



去る10月12日、岡山県社会福祉大会において、民生委員・児童委員の山田知江さんと牧

野俊子さんが表彰を受けられました。山田さんは18年、牧野さんは15年の長きにわたり民生委員、児童委員を努められ、その社会福祉に対する貢献が認められたものです。

たいへんおめでとうございます。今後も新庄村のためお力を発揮してくださいようお願いいたします。

(住民福祉課 大野)

長寿のつどい開催



10月16日(日)に、平成28年度長寿のつどいを多数のご来賓、参加者を迎え、盛大に開催しました。

当日は、村長の挨拶、河野県議会議員、磯田村議会議長からお祝いの言葉をいただきました。

また、本年度に米寿を迎えられた方13名、金婚を迎えられた4組の方、8020受賞者2名の方々に記念品を贈呈しました。

お祝いのアトラクションは、保育園児の可愛らしい演技に始まり、愛育委員、新庄田植唄踊りの仲間たち、宮坂流津山銭太鼓保存会、北部明泉会新庄支部、安来節民謡同好会の皆様の出演により会場を盛り上げました。

日頃あまり出会えない方との会話にも花が咲き、楽しいひとときとなりました。

ご協力いただきました出演者、新庄村栄養改善協議会員その他関係者の皆様のご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

(住民福祉課 藤井)



秋のがいせん桜まつり



もちなげ等を行い、会場を盛り上げました。

今回、大相撲のスイーツ親方としても有名な芝田山親方（第62代横綱 大乃国）をゲストに迎えトークショーや捣きたてひめのもちを入れた芝田山部屋直伝ちゃんこの販売等を行いました。会場はちゃんこを求めるお客様や、親方を一目見ようとするお客様で賑やかになりました。また、親方には新庄村の特産品ヒメノモチの魅力をPRする「新庄ひめのもち大使」に就任いただき、今後の新庄村の知名度アップにご協力いただきました。

10月30日(日)がいせん桜通りを会場に「秋のがいせん桜まつり」を開催しました。当日は天候に恵まれ多くの方にご来場いただきました。

村内から20店舗の参加があり、新庄の特産品を活かした品々が「がいせん桜通り」に並びました。

アトラクションは、小学校5・6年生の「傘踊り」、新庄中学生の「ソーラン凧」、

ご協力いただいた町地区、出店者、関係者の皆様へ紙面をお借りしお礼申し上げます。
(産業建設課 竹本)



日本で最も美しい村の芸術祭

新庄村ゆかりの芸術家3人の作品を集めた「日本で最も美しい村の小さな芸術祭」を29日(土)、30日(日)、11月3日(水)、5日(土)、6日(日)にがいせん桜通りの「The Barber bar」(咲蔵家)で開催しました。

新庄村出身で彫刻家の金盛秀禎さん、美術監督の酒井賢さん、新庄村在住で写真家の森本二郎さんにご協力いただき作品を展示しました。また、



今年度は体験をキーワードに29日に森本先生のワークショップの実施、秋のがいせん桜まつりが開催された30日には河川公園において120cm四方の大きなパネルに絵の具を使って未来を描くワークショップを実施しました。

参加した子どもたちは新庄村の澄んだ空気、青空の下で思い出に残る作品を完成させ、新庄村での芸術の秋を楽しんだと思います。

(産業建設課 竹本)

風の子文庫祭り

11月3日(木)に開催した風の子文庫30周年記念の文庫祭りに多数参加していただき、ありがとうございます。お母さんだけでなく、お父さん、おばあさんの参加もあり、嬉しかったです。

まず受付で、これから末永く文庫を続けたいという願いをこめて「30周年駅発40周年駅行き」の切符をもらって電車に乗って文庫祭り会場へ。毎年恒例の小学生による出し物は、今年は「かさじぞう」の劇をしました。8人のかわいいおじぞうさんは、衣装もばっちりきまつて「よういさよういさ」と宝物を引っ張って会場内を一周する大熱演でした。

また今年は、30周年記念と



いうこともあって、新庄に伝わる民話「犬のごろたろう」を人形劇にして上演しました。首や手足の動く大きな人形を手作りすることから始め、文庫の皆で作りに上げた舞台、いかがだったでしょうか。

そのほか子供達とのやりとりの面白いペープサート「せんたくだいすき」や、ひざにだっこしてもらっての「バスにのってゴーゴー」の歌遊び、ランチョンマット作りなど、楽しんでいただけましたでしょうか。

お昼は、みんなの大好きなカレーライスを食べて、30周年記念鉛筆のプレゼントをもらって閉会となりました。風の子文庫は、毎週水曜日3時半から公民館児童図書室で行っています。ぜひ遊びにおいで下さい。

(風の子文庫)

出雲街道を歩こう会

第7回出雲街道を歩こう会が10月22日(土)新庄村内で開催されました。78名の参加者が後鳥羽上皇と後醍醐天皇の隠岐遠流に関する伝承の残る旧出雲街道を歩きました。

当日は新庄村ふれあいセンターに集合し、バスで虬根まで行き出雲街道最大の難所である四十曲峠を越え、沿線の史跡・旧跡を巡って御幸橋にてゴールとなりました。

多くの方に出雲街道の魅力を知っていただくきっかけになりました。

(出雲街道新庄宿の会)
(出雲街道勝山宿の会)

12月3日～9日は「障害者週間」です

「障害者週間」は、障害者の福祉について関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会・経済・文化などあらゆる分野の活動へ積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。

どんな障がいを持つ人でも

特別視されることなく、社会の中で一個人として普通に生活したり、社会参加できるようにする、ノーマライゼーションやリハビリテーションの理念は、人々の中に大分定着してきたかのように思われます。しかし、障がいを持つ人が生活していくためには、まだまだ妨げとなっている壁も多く、解決されなければならぬ問題も山積みです。

一人ひとりがマナーやルールを守ることが必要です。ちょっとした心遣いにより、障がいのある人も地域でごく普通に生活できるようになります。また、障がい者作業所などの製品を購入したり、そこに仕事を発注したりすることは、社会参加への意欲にもつながります。

「障害者週間」を機に、障がい者の自立と社会参加に対するより一層のご理解とご協力をお願いします。

(住民福祉課 高岡)

今月の俳句

夜長し農の段取りあれこれと

湯浅 芳郎

豆抜くに味方につくは十三夜

小倉 泰子

秋陽^{あきひ}差す机の上に眠る猫

大月 幸子

落葉^はふむタイヤの溝も浅くなり

宇田 弘通

秒針の音に眠れる長き夜

金盛 啓子

継^{すが}りつくトレラン選手牛膝^{いのこずち}

田中 寛一

お知らせ

《戸籍の動き》

「戸籍の動き」への掲載希望について、遠慮なく住民福祉課までご連絡ください。

年金相談

12月の年金相談日をお知らせします。

日時

12月8日(木)10時～15時半
12月22日(木)10時～15時半

場所 真庭市役所久世本庁舎

※相談内容を把握するため、前日までに必ず予約をお願いします。

予約先

津山事務所 お客様相談室

TEL 0868312365

年金番号がわかるものと、本人確認ができる免許証、保険証などを持参してください。また、代理の場合は委任状が必要です。

(住民福祉課)

11月の納税

国保 税(6期)
介護保険料(6期)
後期高齢者保険料(5期)

納期限 11月30日(水)

9月期の交通事故・違反者発生状況

区分		村 内		真庭市内	
		9月期	本年の累計	9月期	本年の累計
事故	件数	0	2件	6	71件
	死者	0	0人	0	4人
	重傷	0	0人	0	7人
	軽傷	0	2人	7	89人

(総務企画課 法花)

平成29年成人式の案内

新庄村では、新成人を祝福するために、次のとおり成人式を開催します。

日時

平成29年1月2日(月)

午前10時開式

(受付 午前9時30分)

◆場所 新庄村公民館

◆対象

平成28年4月2日から平成29年4月1日までに生まれ、現在村内に住民登録または外国人登録のある方、平成24年3月に新庄中学校を卒業した方。

(全9名)

※対象の方への案内状は、11月下旬に発送します。

(教育委員会 坂本)

冬のふるさと小包募集

今年も新庄村特別村民制度冬のふるさと小包を募集する時期となりました。

お歳暮に新庄村のふるさと小包を是非ご利用下さい。

価格(一口) 冬6,000円

募集締切 12月9日(金)

発送日 12月20日(火)

内容

白餅	20個
玄米餅	300g
手づくり味噌	1000g
ゆず味噌	120g
やまぶきの佃煮	120g
さるなしジャム	150g
あまごの甘露煮	3匹入り

北部高等技術専門校
訓練生募集案内

脱臭木炭	1袋
もち花	1束
さるなし酢	100ml
もち米甘酒	210g

(特別村民制度運営協議会)

◇募集訓練科名及び定員等

1年訓練(平成29年4月～平成30年3月)

電気設備科 20人

木造建築科 10人

木工科 20人

◇6月訓練(平成29年4月～平成29年9月)

エクステリア科 10人

OA事務科 20人

ケアサービス科 20人

◇募集期間

平成28年11月7日(月)～

平成29年1月6日(金)

◇試験日

平成29年1月21日(土)、22日(日)

◇受講料 無料(教材費などは別途必要)

◇申込方法 訓練科によって募集対象者及び申込み方法が異なりますので、北部高等技術専門校へお問い合わせ下さい。

◇問合せ先

岡山県立北部高等技術専門校

津山市川崎953

電話0868(26)1125

工事等入札結果

入札日	事業名	業者名	落札価格(契約金額)	工期
平成28年11月1日	新庄村情報セキュリティ強化対策事業	西日本電信電話株式会社岡山支店	9,250千円(9,990,000円)	平成29年2月28日

お元氣ですか？

『みかんは皮まで』

冬はこたつに入り、みかんを食べる、日本人にはなじみのある光景ですね。みかんには「ビタミンC」が多く、風邪予防になること、またみかんの旬が冬であることがこたつにみかんの理由として考えられます。

みかんをたくさん食べると皮膚が黄色くなるのは、βクリプトキサンチンが多く含まれているためです。これを「柑皮症」といいます。時間が経てば治るため心配はいりませんが、みかんの果肉には体を冷やす作用もあります。美味しいからといって食べ過ぎないように注意しましょう。

美味しい果肉を食べた後、皮はどうしていますか？漢方的一种に「陳皮（ちんぴ）」というみかんの皮を乾燥させたものがあります。使い方や効果は様々です。みかんは、皮まで捨てることなく使える優秀な食材です。

●作り方

- ①皮を水でしっかり洗い、粗く刻んでザルに広げる。
- ②日陰でカラカラになるまで乾燥させる。

●利用方法と効果

「お茶」

急須に3g程度の陳皮を入れ、熱湯を約300ml注いでから4〜5分蒸らします。お好みで蜂蜜などを入れて飲みましょう。

「お風呂」

1〜2握りの陳皮を布袋に入れ、鍋などで煮だしたものをそのままお風呂に入れます。

：皮や白いスジに含まれるヘスペリジンには、毛細血管を強くする効果があります。体を温め、湯冷めを防いでくれます。

「香り付け」

フードプロセッサーなどで粉々にして、みそ汁や煮物に入れます。

：香り成分のリモネンには、気持ちを静めリラックスさせる効果があります。免疫力を高めるため、風邪予防にも繋がります。

「掃除」

陳皮を煮出した液をオーブンやレンジ、コンロに霧吹きなどで吹きかけ、拭き取ります。また、生の皮をそのまま使うこともできます。：クエン酸には汚れを落とす力があります。リモネンには匂い消しの他にも油を分解する力もあり、キッチン周りの汚れを落とすのに最適です。

陳皮は、密閉容器に入れておくとも長期間の保存が可能です。冷え込む季節になります。今回紹介した陳皮や温かい飲み物などで体をしっかり温めるようにしましょう。

(住民福祉課 大塚)



11月は「労働保険適用促進強化期間」です

～入っていますか？

労働保険

☆労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称です。

従業員を1人でも雇用された場合は、法律により労働保険の加入が義務づけられています。そのため、事業主は労働保険料の申告・納付手続や雇用保険被保険者に関する手続きを行う必要がありますが、まだ加入手続きがお済みでない事業主の方は、一日も早く

加入手続きいただきますようお願いいたします。

※業務のご都合で事務処理が困難な事業主の方には、「労働保険事務組合」に事務を委託する制度がありますので、ご利用下さい。

問い合わせ先

ハローワーク津山

雇用保険課適用担当

Tel 0868(35)2671

津山労働基準監督署

Tel 0868(22)7157

岡山県 最低賃金

757 円

平成28年10月1日から

最低賃金、しっかりチェック!!

社協だより

理想の福祉を目指して

【赤い羽根共同募金運動】

期間…10月1日～12月末

10月30日の秋のがいせん桜祭りに併せて、街頭募金活動を行いました。

当日は天気にも恵まれ、祭りに訪れた村内外の多くの人にご協力頂き、19,220円の募金が集まりました。ありがとうございました。

12月末まで続く募金運動に引き続きご協力お願いいたします。



老人クラブ連合会の活動

木々はすっかり落葉し、「寒いぞなあ」が合い言葉のようになりました。長いながい冬の訪れです。

寒いとからだは縮こまり、肩こりに悩まされがちです。ストレッチで筋肉をほぐしましょう。

10月の活動状況

18日 第2回奉仕作業(62名)

21日 中学生とグラウンド・

ゴルフを楽しむ会

(21名)

第2回奉仕作業

好天に恵まれ、今年度第2回目の奉仕作業を行いました。恒例により、クラブ員のつどいの場となっているふれあい公園での実施です。

それぞれ道具を持ち寄り、慣れた手つきで草取り・草刈り・剪定など、得意の作業で活躍しました。

中学生とグラウンド・

ゴルフを楽しむ会

毎年恒例となっているこの行事は、第2学期中間テストの最終日、すべての考査を終了して中学生たちがふれあい公園にやってきました。

テストからの解放感もあったか、本当に楽しそうにゲームに参加する中学生にクラブ員も元気をもらい、和気あいあいと親睦を深めました。

おみやげは、中学生が選んでくれたブランケット(膝掛け)でした。寒い冬をこれで乗り切り、目標に向かって一歩一歩進んでくれることを祈っています。



デイサービスの活動

干し柿作り

ふれあい公園の紅葉が真つ盛りの中、干し柿作りを行いました。利用者の皆さまは、やはり上手いものです。包丁でヘタの部分をつと剥いて、後はピーラーであつという間に仕上げられます。「昔はカミソリの柄に布を巻いて包丁の代わりにしようた。」

「皮は干して漬け物にしようで。」など、

楽しく会話しながらの作業となりました。



最後にな

りましたが、温かいご厚意により、たくさんの柿をいただき、ありがとうございます。



写真展鑑賞

デイサービスでは新庄村の50年前と近未来写真展鑑賞に公民館に行きました。写真を見ながら「この頃ワシは四十代の働き盛りじゃった」

「こうやって縄仕事の横で子供が勉強しよったなあ」「一番記憶に残つとるんはこのサンパチ豪雪じゃ、学校の窓ガラスも全部割れたんじゃ」と次から次に昔の話が盛り上がりました。職員も歴史の流れを感じる貴重な写真を前に、利用者の皆さんの生きてきた歴史さえも感じました。公民館に久しぶりに来たという声も多く、これからもセンター内だけでなく出来る限り要望に沿った活動で皆様の笑顔を引き出していきたいと思ひます。



社協へのお問い合わせ

村内無料電話

3-3106

第3回役員会(日程未定)

12月の行事予定

総合事業サービスがスタートします

介護予防・日常生活支援総合事業（通称総合事業）における生活支援サポーター養成講座（全3回）を9月、10月に開催しました。この総合事業とは、超高齢社会を迎えている日本において、地域でお互いを助け合い、支えあいながら、お互いの介護予防につなげていくという取り組みです。手伝う方を生活支援サポーターと呼び、近所の方に相談するほどでもないが、できなくて（もしくはやりづらくて）困っていることをサポーターが代行するという仕組みです。

大きく分けて訪問タイプと通所タイプがあります。

訪問タイプ（助け合い活動）

○どこで：依頼者の自宅周辺

○だれが：サポーター（村民）

○だれに：依頼者（村民）

○何を：草取り、雪かき、ゴミだし、洗濯、家具移動、話し相手、居場所確認、調理（配食）、部屋の掃除、買い物補助、その他の困りごと

通所タイプ（居場所づくり）

○どこで：ふれあいセンター

もしくは地区の公民館

○だれが：サポーター（村民）

○だれに：参加者（村民）

○何を：会食、教室、サロン、カフェ、体操、その他

※依頼者へ必要な手伝いについては事前に生活支援コーディネーターが伺います。

今までの介護予防と違い、

全ての高齢者が対象となり、地域の場合集まり、または自宅への訪問などを行いながら、介護予防を行っていきます。

助け合い活動での依頼者とは、自宅での困りごとを抱えている高齢者の方のことです。生活支援コーディネーターに相談することで生活支援サポーターに連絡し、困りごとの解決を代行していきます。

これからの介護予防の姿

地域で暮らし続けるための生活支援

すべての高齢者

社会参加

居場所・つどいの場・支え合い

これまでの介護予防の姿

要介護状態にならない介護予防

要介護予備群

身体・精神機能の向上

介護予防サービス（1次・2次予防）

対象

目的

サービス・活動

生活支援サポーター養成講座ではゲスト講師を招きながら新庄村、だからこそ可能な地域で取り組める新しい介護予防について議論しています。



毎回約30名の参加者とともに総合事業についての勉強を重ねています。

生活支援サポーターは登録制です。福祉の専門性を問うことはありません。各個人のできることをできる範囲で地域の困りごとを解決していくことを目標としています。新庄村社会福祉協議会に設置している参加申込書に事前に必要事項を記入の上、提出していただくだけで、登録手続きは完了です。サポーターの募集はまだ始まったばかりです。

多くの村民を支えるためには、多くのサポーターが必要です。ぜひ、興味がある、サポーターになりたいと考えている方は、新庄村社会福祉協議会までご連絡ください。

問い合わせ先

新庄村社会福祉協議会
電話

0867562001

担当 中塚

（新庄村社会福祉協議会

生活支援コーディネーター

中塚）

中学校だより

フラワーロードの花の植え替え ～1年中、花を絶やさず～

今年の春から、学校脇の道路に沿ったフェンスに、プランターに入れた花を飾っています。学校では、このフェンス沿いの道路を「フラワーロード」と呼んでいます。

春先の冷え込みが予想される日の前日には何度か室内に避難させ、また、必要に応じて何度か植え替えをしながら、今まで花を絶やさずにきました。

11月7日(月)の午後、1・2年の卓球部とソフトテニス部が県秋季大会に出場して人数が少ないこの日、これから本格的な寒さを迎える前に、寒さに強いビオラに一齐に植え替えをしました。

子ども達の学校生活を彩り、日々潤いとやすらぎを添えてくれることでしょう。これから来る冬を耐え忍んで、卒業式には子どもたちの門出を祝ってくれると期待しています。

保護者や地域の皆さんにも楽しんでいただけたら幸いです。

(新庄中学校 穂山)



小学校だより

いか・の・お・す・し ～不審者から身を守る～

10月17日(月)に、刃物を持った不審者が校内に侵入したことを想定した避難訓練を実施しました。



教室に不審者が侵入したという担任からの連絡を受け、全教職員で警察等の関係機関への通報・児童の避難・犯人の確保といった動きを実際に行いました。真庭警察署や新庄村派出所の方からも、指導講評をいただきました。

その後、音楽室に移動して防犯教室を実施しました。

いか ついていかない

の (車に) のらない

お おお声で叫ぶ

す すぐ逃げる

し (大人に) しらせる

を確認し、実際の場面を想定して、不審者との距離を取ったり、走って逃げたりするロールプレイを行いました。また、腕を捕まれてしまった時の対処法なども教えていただきました。保護者や教員のいない場面でも、自分の身を自分で守ることができる力をつけていくことが大切です。

地域の方々には、いつも児童が安全に過ごせるよう見守っていただいてありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

(新庄小学校 畦崎)

第21回中国ブロック総合ソフトバレーボールフェスティバル

10月23日(日)、鳥取県米子産業体育館にて中国ブロック総合ソフトバレーボールフェスティバルが開催され、キッズの部(4年生以下)に、新庄村ジュニアスポーツクラブの10名が参加しました。

この大会は、一昨年、山口県で開催された同大会に出場したことにより、岡山県ソフトバレーボール協会の推薦を受けての参加となりました。

2試合とも島根県代表チームと対戦しました。第一セットは奪うも連取するに至らず、敗戦しましたが、全体では同率3位に入賞しました。

サーブによる連続ポイントが決まる嬉しさも、1点に泣く悔しさも感じることでできた試合でした。他県のチームと試合をするという貴重な体験を、今後の大会に生かして欲しいと思います。

保護者の皆様には遠方開催にも関わらず応援に来て頂きありがとうございました。指導者の皆様には熱心にご指導頂き感謝いたします。

(教育委員会 平中)

